OGAWA ISSEI

小川一成の県政報告

初夏号

発行　小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

H.24年12月16日に茨城県議会議員として当選させて頂き翌17日に初登庁いたしました。守谷を代表する県議会議員として、皆様にお約束したことを一つ一つ確実に実現していきます。

「天神北」交差点改良工事　実現

（都市軸道路とふれあい道路の交差点）

12月19日。竜ヶ崎土木事務所で富山所長と会い、守谷の道路行政について2点要請をした。

1. 都市軸道路とふれあい道路の大柏交差点における上り右折車線の混雑緩和の為、現在道路上にあるガードレールを撤去するか位置を大幅にずらす事。
2. 事故防止のために軸道路、大柏付近の雑草を綺麗にする事。

予算の伴うものは財政難の折、どのように折り合いをつけるか頭の痛いところだ。

県警との協議

12月20日。竜ヶ崎土木事務所に要請をした案件について、早速今日、富山所長と担当課2名が私と現場を見ることにした。守谷市天神北の交差点右折車線の改良について現地で話し合う。

竜ヶ崎土木事務所と打合せ

1月9日。守谷市天神北の交差点改良工事の件について県警交通規制課と県庁で打ち合わせをする。この交差点の混雑解消の為に、まずガードレールの撤去を要請した。次に右折帯を設置して抜本的に改良工事を行う事である。三点目は地元から要望が出ている歩行者用の信号機の設置について要請をした。

2月21日。年度末のこの時期は予算もほとんど使い切っているにもかかわらず、私が要請した年度末の3月を待たずに、2月21日に工事を完了させた事は、高く評価したいと思います。

スッキリときれいになりました

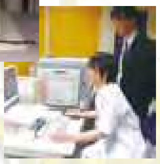
ホールボディーカウンターを実施　実現

放射能汚染問題の解決は今だに道半ばである。中でも、守谷市を始めとする茨城県南の地域は特に放射能の空間線量率が高い地域とされている。この地域に住む小さな子供を持つお母さん方の不安は今でも続いている。
その不安を解消する為にホールボディカウンターによる内部被曝検査をすべきであると保健福祉部と激しくやりあって来た。

知事へ要望書を提出

1月22日には茨城県立中央病院に行きホールボディカウンターを視察し、機材が揃っているのに検査をやらない理由は何故かと問いただした。検査をやらない理由は、検査をしても何も出ない。検査をすることによってそんなに汚染がひどいのかという風評被害が怖い。病院側に受け入れ態勢が整っていない等、最もらしい理屈をつけてきたが私にすれば聞いていられない。

10秒で測定できるホールボディーカウンターが県内に



現に県民は困っている。県民の不安を取り除くのが行政であり政治である。

担当課に言ってもらちがあかないので、直接知事に話しをして結着をつけることにした。3月8日「茨城県民の不安払拭のためホールボディカウンターの使用を求める要望書」を手渡した。私が発起人になり放射線量が特に高い地域から選出されている10人の県会議員に賛同して頂き、早期に実施するよう橋本知事に要望したところすみやかに実施する旨の解答を得た。

福島第一原発視察

3月21日「東京電力福島第一原発状況調査」をいばらき自民党議員団の一人として参加した。
Jヴィレッジにて防護装備着用（靴カバー、綿手袋、ビニール手袋、サージカルマスク）し福島第一原発まで約40分移動。免震重要棟・緊急時対策本部にて概要説明を受ける。ここが吉田前所長が3.11直後から不眠不休で指示を出していたところだ。原子力発電所現場視察は構内専用バスで行い、1～4号機を海側から見た時には津波の破壊力の凄まじさをまざまざと見せつけられた。
3号機は特に放射線量が高く人が近づけないため、クレーンを遠隔操作して建屋を解体していた。ここを通過する時には1400μSV(マイクロシーベルト)であった。福島第一原発事故の現場をまじかに見て多くの事を考えさせられた。この件については後程報告したい。そして、この現場で日夜闘っている方々には何と言っていいか言葉が見当たらない。人間が神の領域に手を染めてしまった。今回の視察は私に多くの課題を与えた。

小川一成の県議会報告

2月27日から3月22日 平成25年第1回茨城県議会が開催。

茨城県議会「防災環境商工委員会」で霞ヶ浦の浄化の問題を質す。

委員会で質問中の小川一成

3月12日から3日間は各委員会の審議。私は防災環境商工委員会に所属し1日目は生活環境部所管事項の審査が行われ、執行部に対し霞ヶ浦の水質浄化の問題、交通問題、県国際交流協会などについて質した。

特に霞ヶ浦の水質浄化については今迄も執行部に様々な提言をして来た。県は霞ヶ浦の浄化に今日まで37年間、約1兆3000億円を注ぎ込みながら一向にその成果を挙げる事が出来なかった。霞ヶ浦の浄化は茨城300万県民の悲願である。考え得る全ての手段と資金を投入して早期に実現すべきであると述べた上で新たに次の提案をした。霞ヶ浦を取り巻く八つの終末処理場から放流される水のチッソ、リン、CODの数値を県がH27年度迄に目標としている数値以下にさせる事。これは喫緊の課題であり必ず実現させなければならない。いつまでも霞ヶ浦の綺麗な水を取り戻す事が出来なければ、茨城県民の恥だ。

「通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会」の委員長に就任。

定例会最終日に「通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会」が新たに設置され、16名の委員が発表された。その委員長に私が指名され大役を引き受ける事になった。

今社会問題になっている安全な通学路の確保に関し教育庁、県警、土木部などとスピード感を持って事に当たり、全国に先駆けて内容のあるものを実現したい。委員各位はいずれも論客ばかりで活発な委員会になりそうだ。

がぶりメンチ銀座進出

3月26日、守谷市商工会青年部が銀座の茨城マルシェで「守谷将門がぶりメンチ」のキャンペーンを行った。

私も現地に応援に行った。もちろんお昼は「がぶりメンチ」定食。銀座でこの定食が980円は安いです。

銀座の茨城マルシェで打合せ

市民大学講座

もりや市民大学の講座が1月29日に守谷市市民交流プラザで開催された。

この市民大学は、協働のまちづくりを担う人材の育成を目標に昨年の10月に開校されたものだ。

私は『守谷を知る·火曜コース』の講師として「守谷の国際交流」について90分の講義をした。定員は25名だが傍聴者も入れて38名の参加者があり、有意義な意見交換ができた。今回は「守谷の国際交流」についてお話しをさせて頂いた。

緒方貞子氏から感謝状を頂いている

守谷市国際交流協会(MIFA)はとても活発で今年で25年目を迎え、その間の活動が認められH18年には緒方貞子JICA前理事長から感謝状を頂いている。

茨城県議会議員 **小川一成**

〒302-0125　守谷市高野646
TEL.0297-48-1064
E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成 検索

「小川一成のブログ」も見て下さいね!

配信中

趣味の養蜂

「守谷みつばち夢プロジェクト」

この指と〜まれ!

ミツバチを飼ってみたいが飼い方がわからない。
興味はあるが場所がない。
蜂蜜は食べたいが刺されるのは嫌だ。
動機は色々あるだろうが
兎に角やって見たい人集まれ!

ということで、4月7日に小川交通事務所前で初会合
ミツバチを通じて自然環境に目を向けたり、守谷のまちづくりを考えたりと広がりは無限。ハチ談議でわいわいがやがや。

「守谷みつばち夢プロジェクト」2回目は4月14日。友人から「ミツバチが分蜂したので来て」と連絡が有り、全員で現地に行き分蜂の様子と捕まえ方を見てもらった。かなりの強勢群で立派な一群。その後巣箱を開けて中の検査の仕方を実際に体験してもらい女王蜂も確認した。